

こうしたお悩みを解決するため

# 「新しい働き方」導入ワークショップを開催しました

 $^{''}$ デジタル技術を活用し時間や場所にとらわれない多様な働き方 $^{''}$ に柔軟に対応できる 新しい働き方の導入を支援するため、ワークショップを開催し86社109名に参加いただきました。

講師による ミニセミナー



山口県の人口減少にともない、今後人手 不足がより深刻化することや多様な働き 方の必要性などを学びました。

課題整理編



ワークショップ形式で課題を掘り起こし、 自社が抱えている働き方に関する課題 の顕在化を図りました。

グループワーク 課題解決編

6月23日(金) 6月28日(水) 6月29日(木) 10月19日(木) 10月20日(金) 10月26日(木)



2部で掘り起こした課題について、専門 家より具体的なアドバイスやツールの 提供を行いました。

#### 講師からの一言

日ごろ感じている「困難」や「課題」は、何をどう改善し ていくのか、というヒントに直結しています。それぞれ の問題意識を出発点にして、具体的な改善策につな げるお手伝いができて、嬉しく思います。



山口大学ダイバーシティ推進担当副学長

鍋山 祥子氏

## 課題の一例

4名で34個の課題が 出てきたところも!

#### 什事内容

- 業務量にばらつきがある
- ・ 誰がやっても一定レベルの 仕事の質を保ちたい

#### 人事評価制度

- ・評価制度が曖昧
- 従業員のモチベーションにつながらない

- ・差別化してアピールしたい
- ・広告を出しても集客できない

#### 業務効率化

- ・在庫管理を効率化したい
- 紙の書類をデジタル化したい
- ・テレワーク環境を構築したい

### 情報共有

- ・リアルタイムの情報を共有したい
- ・他部署複数人で共有したい

#### 参加者の声

- ●業種が異なっていても共通する課題があり、意見交換や問題解決のヒントにな って良いワークショップでした。
- ●すぐには人事制度や評価制度を作ることはできませんが、目標や理念は掲げ ることはすぐに実行できると思いました。まずは、できることから始めていきた いと思います。
- ●課題を可視化することで、どのような課題があるのか改めて理解し、その対策 について考えやすかったです。
- ●何から手をつけたら良いか全く見えていなかった中、 具体的に何から始めるかが見えてきました。